

支援プログラム

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスAce学園

作成日

2024 年

11 月

11 日

法人（事業所）理念		①program「独自の療育プログラムを用いた自立支援」 ②training「できた！」の提供 ③heart「親子でハッピーになれる教室に」		
支援方針		個別療育で個々への支援を実施し、集団支援で社会性やコミュニケーションを学ぶ場を提供します。また、ご家族様への相談援助や、関係機関との連携を実施し、包括的な支援を行えるよう努めます。		
営業時間		9：00～18：00	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	食べること、排泄すること、着替えること、季節に応じた着衣等の日常生活については、本人の発達段階と生活環境を把握し、繰り返しの支援での本人ができる形での定着を図ります。		
	運動・感覚	歩くことを基本とし、身体づくりを行います。遊びと生活の中で自然と身に着く各器官の呼応関係や協働、体感覚の育ちを大事にしていきます。感覚の過敏性等については、個々の状況の把握と理解を通して背景を捉え、活動を豊かにすることや、環境づくりを行い、緩和もしくは、日常生活に困難をきたさないような解決策を見出していきます。		
	認知・行動	個々の理解できる範囲、理解の方法を把握し、個別に生活の中で支援を本人の困難さや生きづらさが軽減されるようにします。		
	言語 コミュニケーション	言葉がある場合もそうでない場合も、どちらも、本人の伝えたいことが表出されるよう、本人の伝えたいことの把握から始まり、どのような内容にも共感的に対応し、伝える - 伝わったや、わかってもらえたという経験を積み重ねることで、自分のことを伝えられるように促します。		
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルの習得を目指します。ソーシャルスキルを使用すると、「やって良かった」「楽しい」と感じるなど、良い体験となるように設定を考えています。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身につけます。”挨拶““ルール““マナー““礼儀““感謝““謝罪“など社会生活で活躍するスキルを身に付けます。“友人““上下““利害““同盟““協力““対立“など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えます。		
家族支援		連絡ノート、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や、参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。	移行支援	学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加を通して地域との交流の機会を提供し支援します。	職員の質の向上	定期的な事業所会議の実施や虐待研修の実施・研修会の参加と伝達講習を行います。
主な行事等		土曜日、長期休暇中の所外活動やクッキング・夏祭りやクリスマスなど、季節ごとのイベントを行います。		